

平成28年 消防概況をお知らせします

火災

		平成27年	平成28年	増減
火災 件数	建物火災	10	16	+6
	林野火災	0	1	+1
	車両火災	4	5	+1
	その他	5	6	+1
	合計	19	28	+9
死傷 者数	死者	1	1	0
	負傷者	3	5	+2
損害額 (千円)		91,266	66,856	-24,410

▷原因

火入れ3件、こんろ2件、電気機器2件、たき火1件、配線1件、その他8件、不明・調査中11件

救助

		平成27年	平成28年	増減
救助 件数	交通事故	23	17	-6
	その他	3	14	+11
	合計	26	31	+5
活動件数		11	19	+8
救助人員		15	19	+4

救急

		平成27年	平成28年	増減
救急 件数	急病	1,491	1,596	+105
	一般負傷	342	407	+65
	交通事故	196	163	-33
	その他	383	404	+21
	合計	2,412	2,570	+158
搬送人員		2,305	2,446	+141
1日平均件数		6.61	7.02	+0.41

▷救急件数

平成28年中における救急出動件数は2,570件で、1日平均7.02件出動したことになります。搬送人員は2,446人で、市民約24人に1人の割合です。

全国的にも、高齢化の進行などにより救急件数は増加しています。土岐市でも全搬送人員の約65%を65歳以上の高齢者が占めています。

▷救急車の適正利用を

救急搬送した2,446人のうち、約36%の892人は医師により入院の必要がないと診断される「軽症」の方でした。本当に救急車が必要な人の元へ1秒でも早く救急車を到着させて大切な命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

3月1日(水)～7日(火)は春の全国火災予防運動

『消しましょう その火その時 その場所で』 (平成28年度全国統一防火標語)

住宅防火 命を守る7つのポイント — 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- ▷寝たばこは、絶対やめる。
- ▷ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ▷ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ▷逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ▷寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐため、防災品を使用する。
- ▷火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ▷お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

林野火災にご注意ください

林野火災は春先に多く発生しています。降雨量が少なく乾燥する上、強風が吹く中で火入れが行われたり、山菜採りで入山者が増えることによるものと考えられます。林野での火気の取り扱いには十分注意しましょう。

【林野火災防止のための注意点】

- ▷燃えやすい枯れ草などのある場所でのたき火は絶対にやめましょう。
- ▷強風時および乾燥時には、たき火など屋外で火を取り扱うことは絶対にやめましょう。
- ▷たき火など、火から離れるときは完全に消火しましょう。
- ▷たばこの吸い殻は必ず消しましょう。また、投げ捨ては絶対にやめましょう。

☎ 消防本部 (☎543119)